

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	高次脳機能障害Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 前期月曜3限	教室名	4校舎301
担 当 教 員	丸山 めぐみ	実務経験と その関連資格	友愛会病院で言語聴覚士として勤務し、成人(脳疾患等)の言語聴覚療法に携わる			
《授業科目における学習内容》						
高次脳機能障害を理解し適切な評価・診断に結びつけることができる。リハビリテーションの方法を挙げることができる。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末テスト(筆記試験)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書 :①標準言語聴覚学 高次脳機能障害学(白テキスト) 参考図書:②言語聴覚士のための臨床実習テキスト その他配布資料						
《授業外における学習方法》						
①の該当箇所を予習・復習時によく読む。②には各領域のケーススタディ(症例報告書)が記載されているので、随時参照する。 放課後の検査貸し出し時間を計画的に利用し、検査練習をすすめる。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床実習を想定し、主体的に考えながら授業に参加してください。検査演習も合わせて行いますので、予習・復習にて技術の習得もすすめていきましょう。随時問題演習を行います。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	動くが、学習した行為を行うことができないとはどういうことかを理解できる。	① 配布資料、パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。	
		各コマにおける授業予定	観念性失行, 観念運動性失行			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	失行の定義、症状を説明することができる。	① 配布資料、パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。	
		各コマにおける授業予定	肢節運動失行, 口部顔面失行			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	記憶を種類により分類し、その内容を説明することができる。	① 配布資料、パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。	
		各コマにおける授業予定	記憶の分類とその内容、記憶に関係する脳の部位について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	記憶障害の症状を列挙することができる。	① 配布資料、パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。	
		各コマにおける授業予定	前向性健忘、逆向性健忘、作話、記憶障害の原因疾患、意味記憶障害			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	健忘症候群の種類とその特徴を説明することができる。	配布資料	該当検査のマニュアルを読み、内容や手順を把握する。	
		各コマにおける授業予定	健忘症候群			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標 その他の記憶障害について説明することができる。	配布資料	該当検査のマニュアルを読み、内容や手順を把握しておく。
	各コマにおける授業予定	一過性全健忘、記憶障害の振り返り		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標 S-PAを実施することができる。	配布資料	①②をよく読む。記憶障害の症例報告を検索して読む。
	各コマにおける授業予定	S-PA		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 記憶障害患者の初回問診を行うことができる。 記憶の評価に用いる検査の特徴を説明することができる。	① 配布資料、パソコン プロジェクター	これまでの授業内容を復習する。
	各コマにおける授業予定	記憶の検査バッテリーの特徴と内容		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 症例報告からリハビリテーションの方法を知り、症状と合わせて説明することができる。	①② 配布資料、パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。
	各コマにおける授業予定	記憶障害のリハビリテーションの理論と実際		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 前頭葉症状を列挙できる。	① 配布資料、パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む ②の該当箇所をよく読む。
	各コマにおける授業予定	前頭葉の損傷により生じる高次脳機能障害		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 前頭葉損傷により生じる行動障害を列挙し、内容を説明することができる。	① 配布資料、パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。
	各コマにおける授業予定	道具の強迫的使用、使用行動、模倣行動、本態性把握反応など		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 全般性注意機能を列挙し、内容を説明できる。	① 配布資料、パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。
	各コマにおける授業予定	注意障害の種類と内容		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 注意障害の評価ができる。	①② 配布資料、パソコン プロジェクター	①②の該当箇所をよく読む。
	各コマにおける授業予定	注意障害の検査方法とその解釈		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 遂行機能障害を具体的に説明することができる。	① 配布資料、パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。
	各コマにおける授業予定	遂行機能障害、遂行機能障害の検査バッテリー		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 WCST、FAB、TMT等前頭葉機能検査の内容を理解し、実施することができる。	① 配布資料、パソコン プロジェクター	検査の内容を確認する。
	各コマにおける授業予定	WCSTの内容と手順、FABの内容と手順		